

ISO 幹事国活動

1. 国際規格発行に関する進捗状況

DIS が登録されたもの : 1 件

DIS 10332 (SC 19) : 継目無及び ERW 鋼管用水圧試験代替の超音波試験

2. ISO 中央事務局関係

6 月 3, 4 日, ジュネーブにて ISO/IEC 中央事務局主催の下で OA 機器の活用に関するセミナーが開催された。日本以外の欧米先進国から発表があったが, すべては規格発行団体の出版部門の文書処理についてのもので, 実際の ISO 活動をやっている TC/SC 事務局レベルの現状とはかなりの落差があった。

3. TC 17 (鉄鋼) 関係

(1) TC 17 総会準備の一環として欧州主要国を訪問した。(英, 仏, 独, 伊, スウェーデン, ノルウェー, 中央事務局)

結果は次のとおりである。

1) TC 17 総会への参加については未定のイタリア, スウェーデンを除き, 参加の意向が示された。

2) 生産性の問題についてはパソコンによる管理表が説得力を発揮し, 具体的な成果が数件得られた。

3) 電子機器を活用していくことが確認された。

4) TC 17 版 strategic policy statement について説明し検討を依頼した。

5) SC 8 の作業項目については, ほとんどがまず削除すべきとの意向であった。

6) その他 ISO 9000 の TC 17 version, 新分野 (耐火鋼材), 規格様式の統一, バーコード等について意見があった。

(2) SC 4—特殊鋼—

TC 17/SC 4 国際会議

日時 : 6 月 19 日~20 日

場所 : ドイツ鉄鋼連盟会議室, デュッセルドルフ市

議事 1) CD 683-18 : 磨棒鋼—DIS 登録決定

2) WI-358 : フェライト・パーライト析出硬化鋼—DIS 登録決定

3) New WI : ボロン鋼—継続審議 (とりあえず TR 発行)

(3) SC 4/SC 10

ステンレス鋼合同会議

日時 : 6 月 17 日~19 日

場所 : ドイツ鉄鋼連盟会議室, デュッセルドルフ市

議事 1) WI 6931-1 : バネ用ステンレス鋼 Part 1 ワイヤ (1989 年版の改訂)—DIS 登録決定

2) WI 4955 : 耐熱鋼及び合金 (1983 年版の改訂)—DIS 登録決定

3) ステンレス鋼リストの作成

(4) SC 16—鉄筋用鋼—

新作業項目として投票にかけられていた“コンクリート用耐食被覆鉄筋 (エポキシ被覆)”は, 賛成 14,

反対 1 (日本), 棄権 7 で承認された。積極参加は 5 か国 (カナダ, ノルウェー, チェコ, UK, USA) であった (1991 年 5 月 10 日)。

(5) SI 19—鋼管—

国際会議が開催された (1991 年 6 月 5 日~7 日, ミラノ)。

結果は次のとおりである。

1) 投票で否認された DIS 10124 の処置は次回の WG1 で行う。

2) NDT 従事者の雇用者認定 (N 291)—DIS 登録決定。

3) 管端 UST—マイナーな修正後, DIS 登録決定。

4) シームレスステンレス管—独案を初審議, 審議終了, 当方より CD としてパロットにまわすことを要求。

5) 溶接ステンレス管—審議には入れず。

6) 熱交換器用の既存規格の見直し要否—意見分かれ最終的には 5 年見直しの投票後決める。

7) 遠心铸造管—SC 19 としてはやりたい。TC 17 事務局より SC 11 の意向を確認する。

8) 次回会議—1992 年 9 月 16 日~18 日

4. TC 17/SC 1 (化学成分分析) 関係

(1) Systematic review of ISO 下記 4 件に関する 5 年見直し投票結果を中央事務局より受領 (6 月 28 日)

ISO 4829-1 (Si-吸光光度法) 承認 13

ISO 4937 (Cr-電位差滴定法) 承認 12, 改訂希望 1 (Sweden)

ISO 4947 (V-電位差滴定法) 承認 13

(2) ISO 377-2 鋼材の試料及び試験片の採取と調製 (第 2 部化学成分定量用試料) の改訂手順につき, SC 1/SC 20 国内主査・幹事間での打合せを行った。方向として, 下記項目を追加することで合意し, WD の準備を分担して進めることとした (6 月 14 日)。

1) レードル分析に関する事項 2) 鉄に関する事項

(3) 佐伯 SC 1 議長の欧州出張報告

期間 : 1991 年 5 月 14 日~24 日

目的 : 1) 第 3 回鉄鋼分析の進歩に関する国際会議 (Luxembourg) 出席

2) 独, スウェーデンの鉄鋼分析リーダーとの意見交換など

特記 : SC 1 活動でドイツの参加が不活発なのは, 製鉄所分析部門の大幅な合理化で化学分析が実施しにくい実態からであり, 今後機器分析の ISO 化も考える必要がある。

5. TC 67/SC 5 (油井管) 関係

第 1 回 TC 67/SC 5 国際会議の開催

幹事国引受け後最初の会議を米国の協力により開催し, 下記の成果を得た。

(1) 日時及び場所

1991 年 6 月 4 日 9:00~17:00 San Diego/USA

(2) 出席国及び参加人員

フランス, ドイツ, イタリア, 日本, オランダ, ノ

ルウェー、英国、米国、中央事務局、TC 67 事務局、
参加人員総計 26 名

(3) 議事内容

1) 常任議長に住金・奈良氏を決定した。

2) 重点項目及び作業の進め方

最初に取り上げる重点項目として油井管規格の API 5 CT 及び 5 D の ISO 化を決定した。具体的な作業の進め方として欧州側の強い要望にて作業グループ(リーダー：フランス)の設置を決定した。

3) API 5 CT, 5 D の ISO 化の基本方針

API 規格との関係を考え、単位の換算において数値の丸め方に API 方式 (Soft conversion) の採用を決定した。

4) 次回会議(案) 1992 年 9 月、日本

6. 国内会議

SC 1 諮問部会：6 月 5 日、佐伯部会長以下 11 名

TC 67/SC 5 諮問部会：6 月 26 日、奈良部会長以下 8 名

7. 国際会議 (向こう 3 か月間の予定)

(1) SC 13 国際会議

9 月 10 日～12 日、デュッセルドルフ

(2) Accuracy 91

9 月 23 日～24 日、ジュネーブ

(3) SC 11 国際会議

9 月 30 日～10 月 3 日、ブルノ (チェコ)

(4) SC 16 国際会議

10 月 15 日～17 日、イスラエル

(5) SC 7 国際会議

10 月 24 日～25 日、パリ

☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆

鉄鋼技術情報センター

鉄鋼技術情報センター新着図書

照会先：鉄鋼技術情報センター 電話 03-3241-1228

書 名	著者・編集者名	出版年	頁数
労働法全書 平成 3 年版	労務行政研究所	1990	3249
通商産業政策史 第 7 巻 第 II 期自立基礎確立期(3)	通商産業省	1991	547
マグロー・ヒル科学技術用語大辞典 第 2 版		1989	1877
金属便覧 改訂 5 版	日本金属学会	1990	1248
溶接・接合便覧	溶接学会	1990	1496
国立国会図書館所蔵外国逐次刊行物目録	国立国会図書館	1991	1315
表面処理技術の進歩と今後の動向 (第 138・139 回西山記念技術講座)	日本鉄鋼協会	1991	272
先進構造材料次世代技術動向調査報告書 平成 2 年度 I (上巻)	日本機械工業連合会	1991	189
先進構造材料次世代技術動向調査報告書 平成 2 年度 I (下巻)	日本機械工業連合会	1991	227
合金状態図共同研究会 討議資料 (1986 年 5 月～1991 年 2 月)	合金状態図共同研究会	1991	607
合金状態図共同研究会 活動概要 (1986 年 5 月～1991 年 2 月)	合金状態図共同研究会	1991	35
プロセスシュミレーション技術の基礎と応用	日本鉄鋼協会熱経済技術部会	1991	238
第 3 回海洋工学パネル	海洋工学連絡会	1991	118
平成 2 年度支部連合講演概要集	日本鉄鋼協会北陸支部	1990	152
レーザ加工技術	宮沢俊行, 他	1991	198
金属製錬プロセスにおける高温界面移動現象	日本鉄鋼協会鉄鋼基礎 共同研究会	1991	393
90 年代のコンピュータテクノロジーの利用技術 (第 20 回白石記念講座)	日本鉄鋼協会	1991	81
電磁気冶金の基礎研究会報告書	日本鉄鋼協会 特定基礎共同研究会	1990	138
CHEMICAL PROPERTIES OF MOLTEN SLAGS	Shiro Banya	1991	278
改訂 ステンレスの初歩	ステンレス協会	1991	183
記号・式の表示 SI 単位換算一覧表	日本金属学会	1991	23
佐々木申二先生追悼文集	佐々木申二先生追悼文集 刊行会	1991	345
鉄鋼主要設備動向—鉄鋼の動向と複合経営の展開—	川鉄テクノリサーチ(株)	1991	643